

海況速報

平成 15 年度 第 1 号 (通算 No.91)
平成 15 年 5 月 8 日
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境部
Tel 0135-23-4020

4 月上旬から 4 月下旬の海況

日本海海域

暖水渦 2 つ

松前西方沖および茂津多岬西方沖に暖水渦があります。暖水渦の中心は 200m 層水温で見ると松前西方沖で 5 以上の領域と茂津多岬西方沖で 4 以上の領域に相当します。これらの暖水渦にはさまれるように、奥尻島南東に冷水渦が見えます (100m 層 5 以下)。対馬暖流はこれらの暖水渦の西側を北上し、岩内西方沖で暖水渦の北側を回って沿岸に向きを変え、その後積丹半島に沿って沿岸側を北上し始めているようです。また、この沿岸に向かう流れに対し、暖流の一部は岩内西方沖から沿海州へ向かって伸びているようです。水温についてみると、対馬暖流が平年同期より沖合 (西側) を北上しているため、松前西方、茂津多岬西方沖観測線の沖側で水温の高いところがあります。日本海北部では、利尻、礼文島周辺で水温がやや低くなっています。

余市における 3 月中旬以降 4 月下旬までの沿岸水温 (旬平均) は、3 月中旬では「非常に低い」でしたが、その後 4 月下旬まで「平年並み」から「やや低い」の間で推移しました。

道東太平洋海域

水温低め

道東沿岸から沖合にかけて、親潮でおおわれています。沿岸親潮 (*1) の 50m 層で 0 以下の部分が襟裳岬を越え、沙流川沖まで達しています。北緯 40 度 30 分、東経 146 度付近には 200m 層水温で 5 以上の暖水塊の一部が見えます。親潮は襟裳岬からこの暖水塊と本州沿岸の津軽暖流の間を南下するものと襟裳岬を西へ越えるものに分かれています。水温は全体的に平年より低くなっています。

道南太平洋海域

沿岸モード

津軽暖流は沿岸モード (*2) で東北沿岸を南下しており、50m 層と 100m 層では八戸東方沖から襟裳岬へ向かって暖水が伸びています。襟裳岬から室蘭付近まで、表面水温 4 以下の親潮で広くおおわれています。水温は全体的に低めで、特に津軽暖流域では低くなっています。

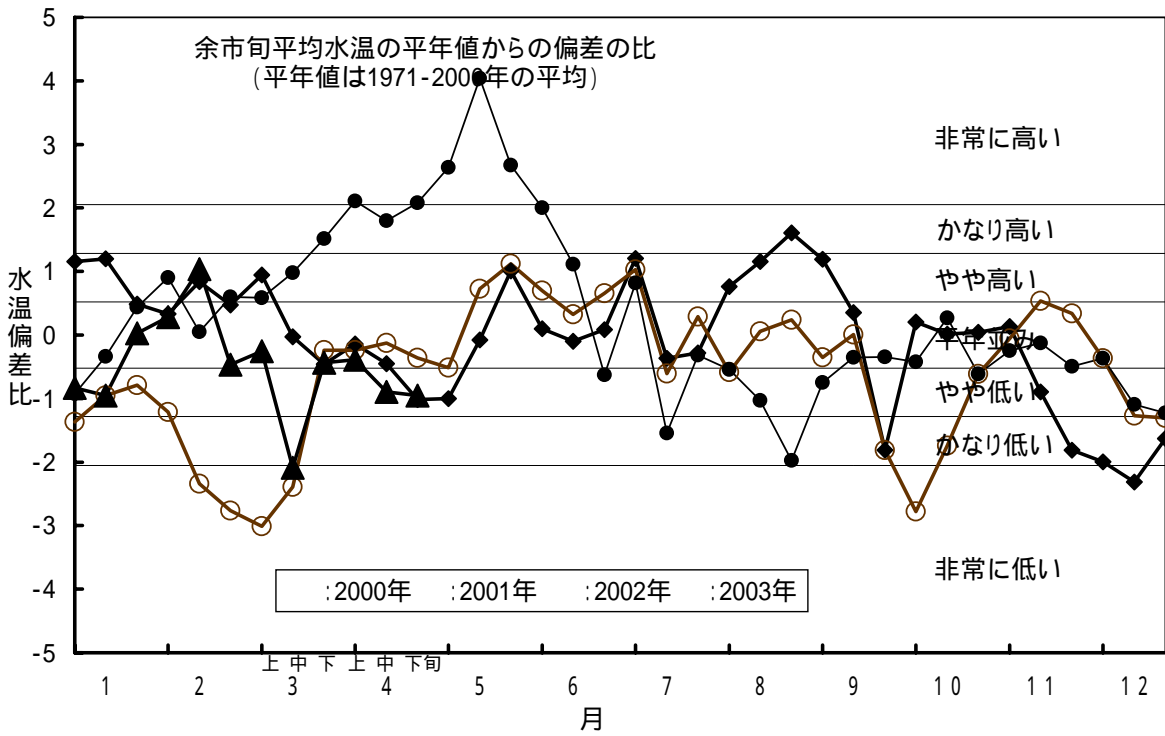
オホーツク海海域

海水残る

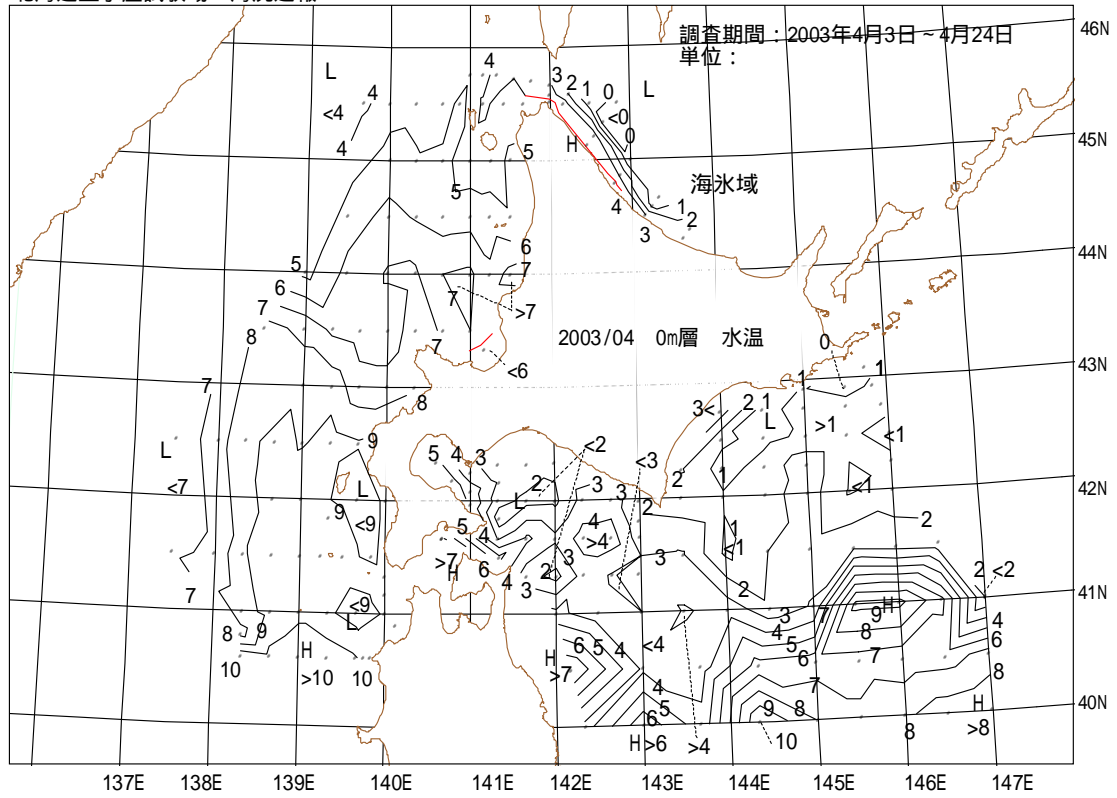
海水のため一部観測できませんでした。表面水温は紋別沖で 3 以上となっていますが、宗谷暖流はまだ浮上していないようです。水温も平年より低めで、前年同期と比べると 2 ~ 5 低くなっています。

資料	観測期間	観測海域
青森水試（東奥丸）	2003/4/3-4/4	（東北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2003/4/10-4/12	（道北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2003/4/14-4/16	（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	2003/4/15-4/20	（道東太平洋海域）
釧路水試（北辰丸）	2003/4/22-4/24	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2003/4/14-4/17	（道南太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2003/4/22	（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	2003/4/10	（道西日本海海域）
中央水試（おやしお丸）	2003/4/16-4/22	（道西日本海海域）

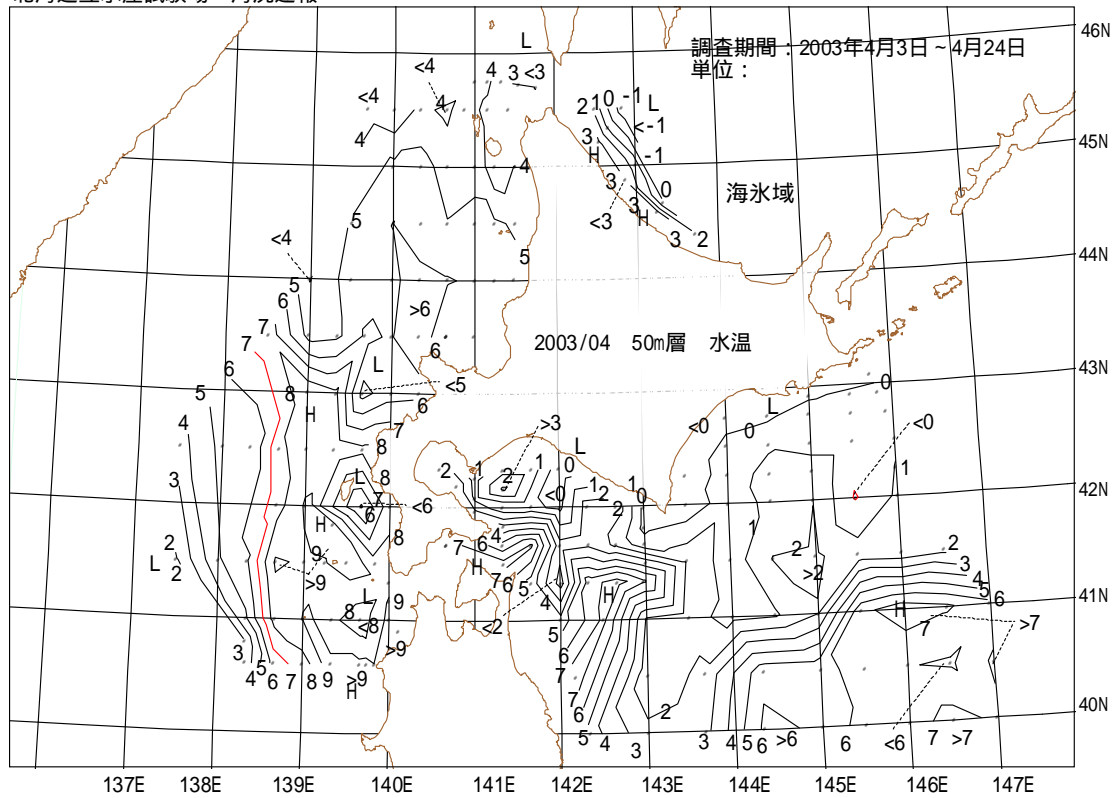
- * 1：オホーツク海の海水の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。
- * 2：津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます



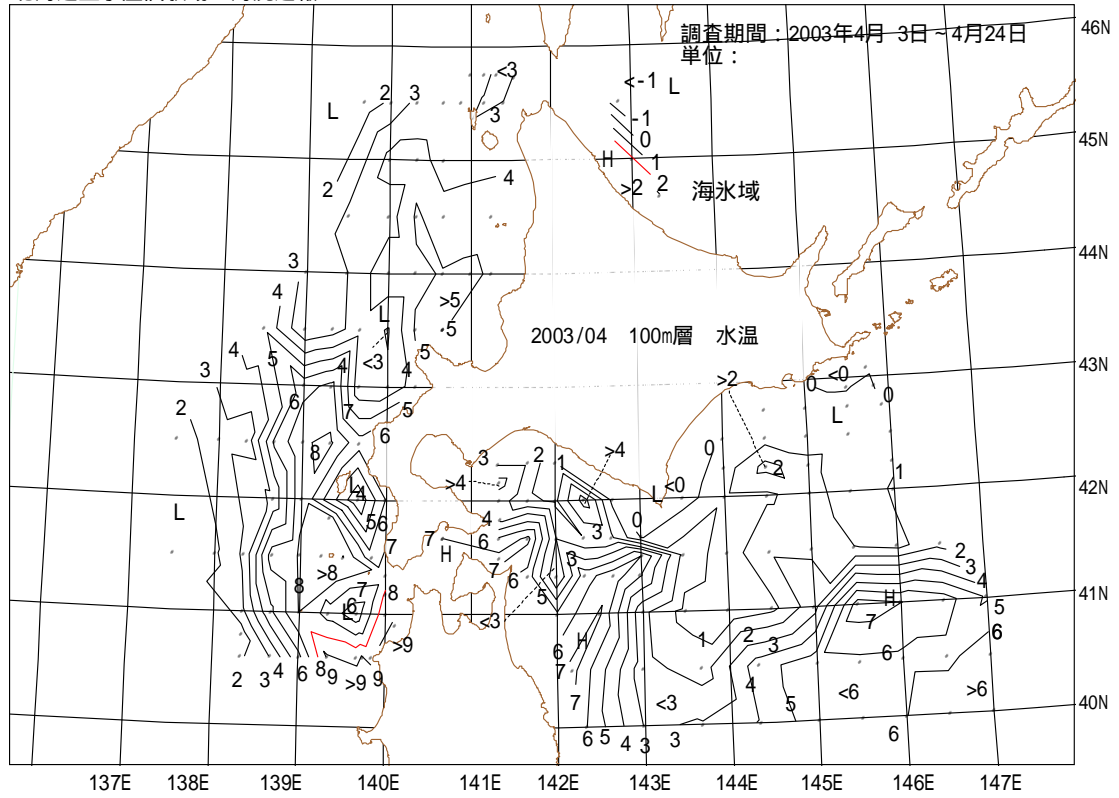
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

